

令和6年度学校自己評価(アンケートの集計と考察)

長野県稲荷山養護学校

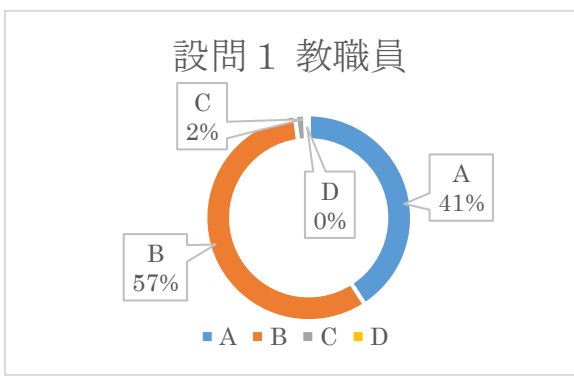
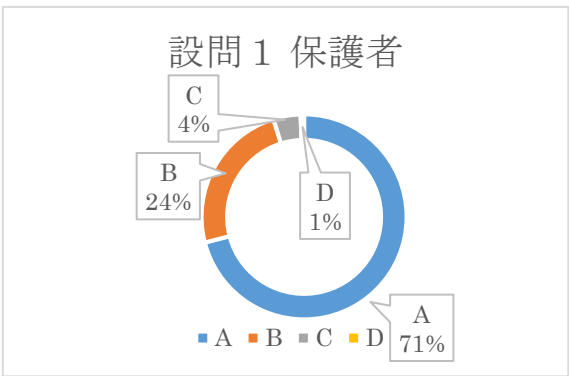
1 回収率 (※人数は児童生徒数)

	小学部			中学部			高等部			分教室			寄宿舎			合 計		
	人数	提出	%	人数	提出	%	人数	提出	%	人数	提出	%	人数	提出	%	人数	提出	%
保護者	108	59	55	86	53	62	121	68	56	22	6	27	24	21	88	337	186	57
教職員																194	186	96

評価基準 A: と思う B: だいたいと思う C: あまりそう思わない D: そう思わない

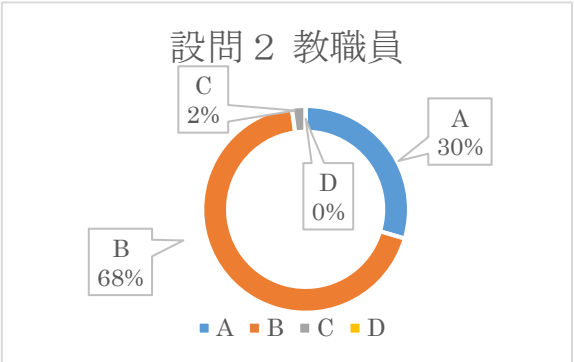
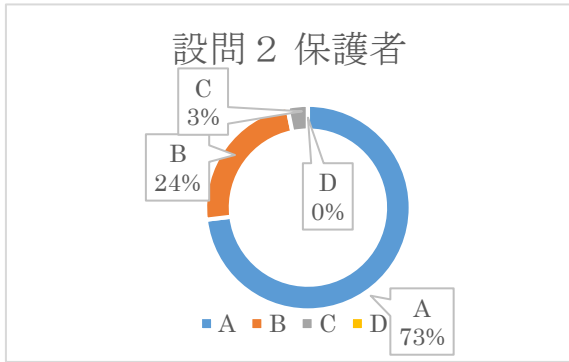
2 項目ごとの保護者・教職員間比較 (※ 設問は保護者アンケートの内容)

設問1 職員は、生活年齢や障がい特性に配慮し、特別支援教育の専門知識を活かした教育を行おうと努力していると思いますか。



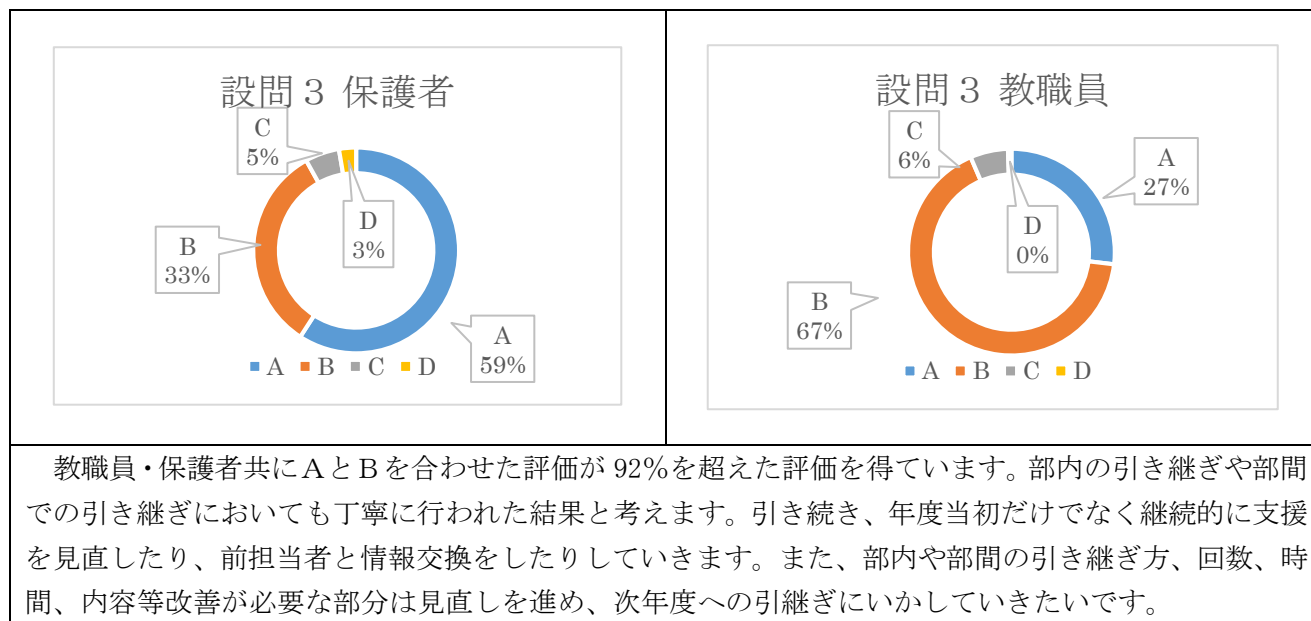
教職員・保護者共にAとBを合わせた評価が今年度も95%を超え、良好な評価を得ています。保護者のCとDを合わせた評価は、ここ数年横ばい傾向にあります。保護者の自由記述欄には「先生により知識や理解に大きな差があるように感じる」という意見をいただいています。生活年齢や障がい特性への配慮や専門性を活かした取り組みを見返して、一人一人の児童生徒に応じた指導支援の一層の充実を目指すとともに校内の研修だけでなく、校外の研修も積極的に参加し専門性を高めていきます。

設問2 学校は、個別の指導計画を作成し、それに基づいて適切な指導、支援をしていると思いますか。

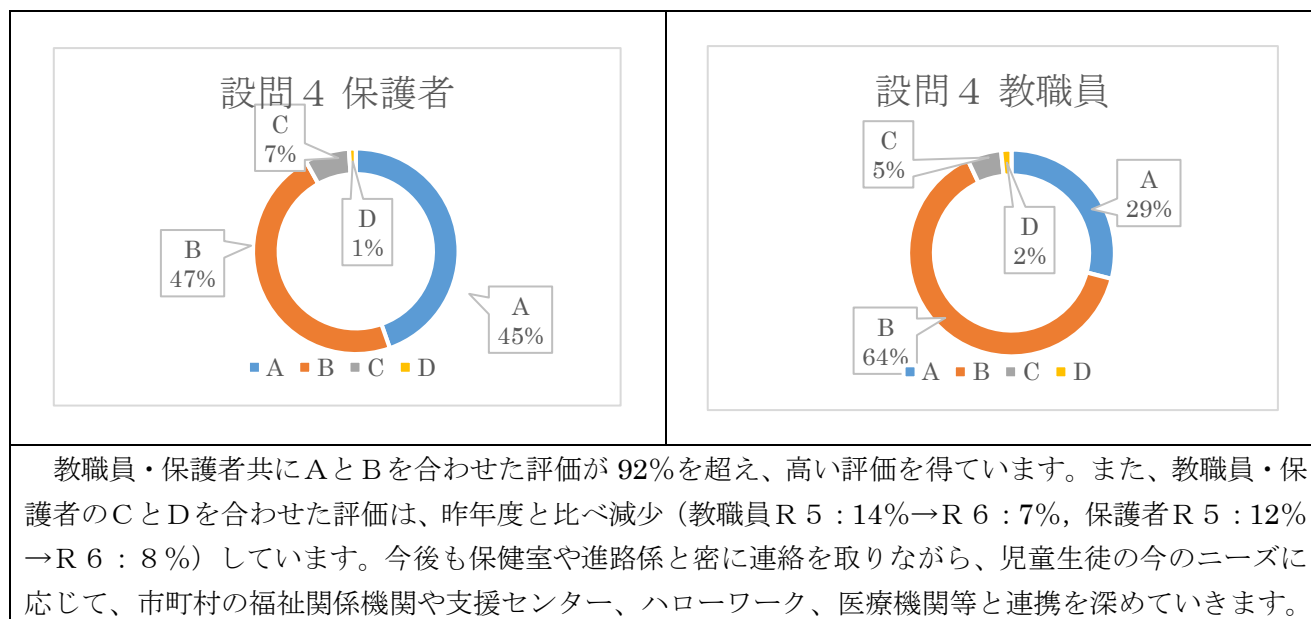


教職員・保護者共にAとBを合わせた評価は97%を超え、高い評価を得ています。個別の指導計画が保護者と学校で、児童生徒の実態や指導支援の具体について共有できるものとなっています。しかし、教職員のAの評価が保護者に比べて今年度も低い評価となっていますが、昨年度に比べ教職員のAの割合(R5: 19%→R6: 30%)は増加傾向にあります。引き続き、作成した個別の指導計画が授業に活かせるよう、個別の指導計画の更なる活用や評価方法等について研究し、児童生徒にとって満足感のある授業づくりに努めていきます。

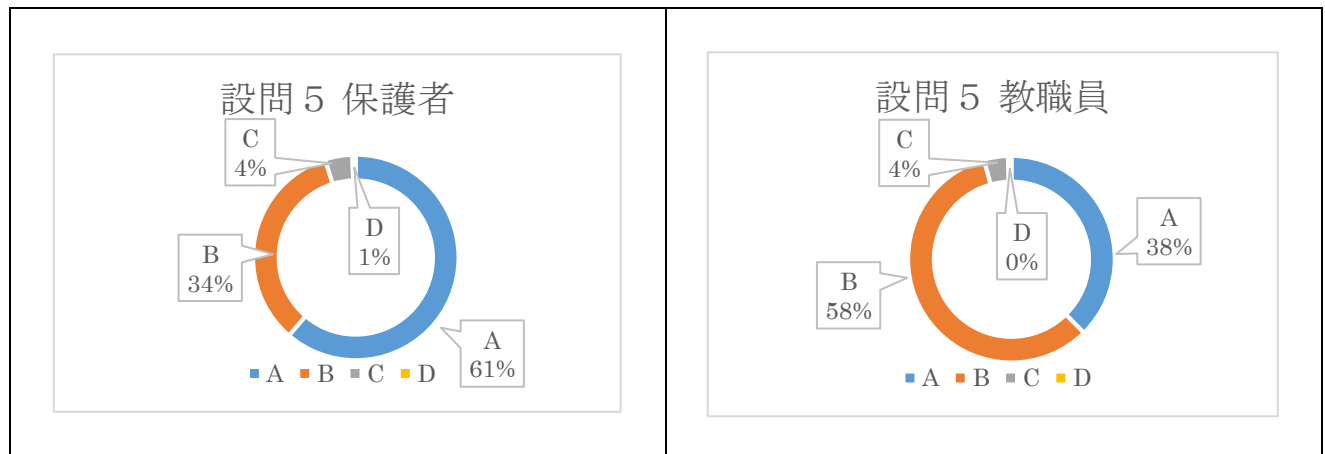
設問3 学校は、前年度の学級や学部からの引き継ぎが適切になされ、連携した指導、支援を行っていると思いますか。



設問4 学校は、家庭・地域・関係機関（市町村の福祉関係機関、支援センター、ハローワーク、医療機関、児童相談所等）と有意義な連携を行っていると思いますか。

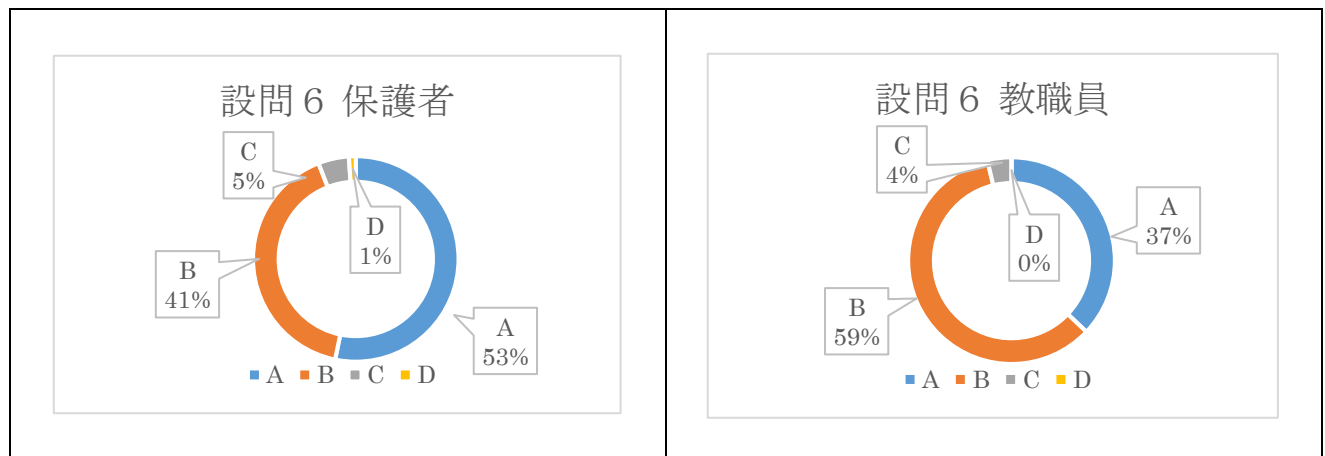


設問5 児童生徒は、学校生活を通してその子なりに基本的な生活習慣（あいさつ、身辺自立、性に関する事等）が育っていると思いますか。



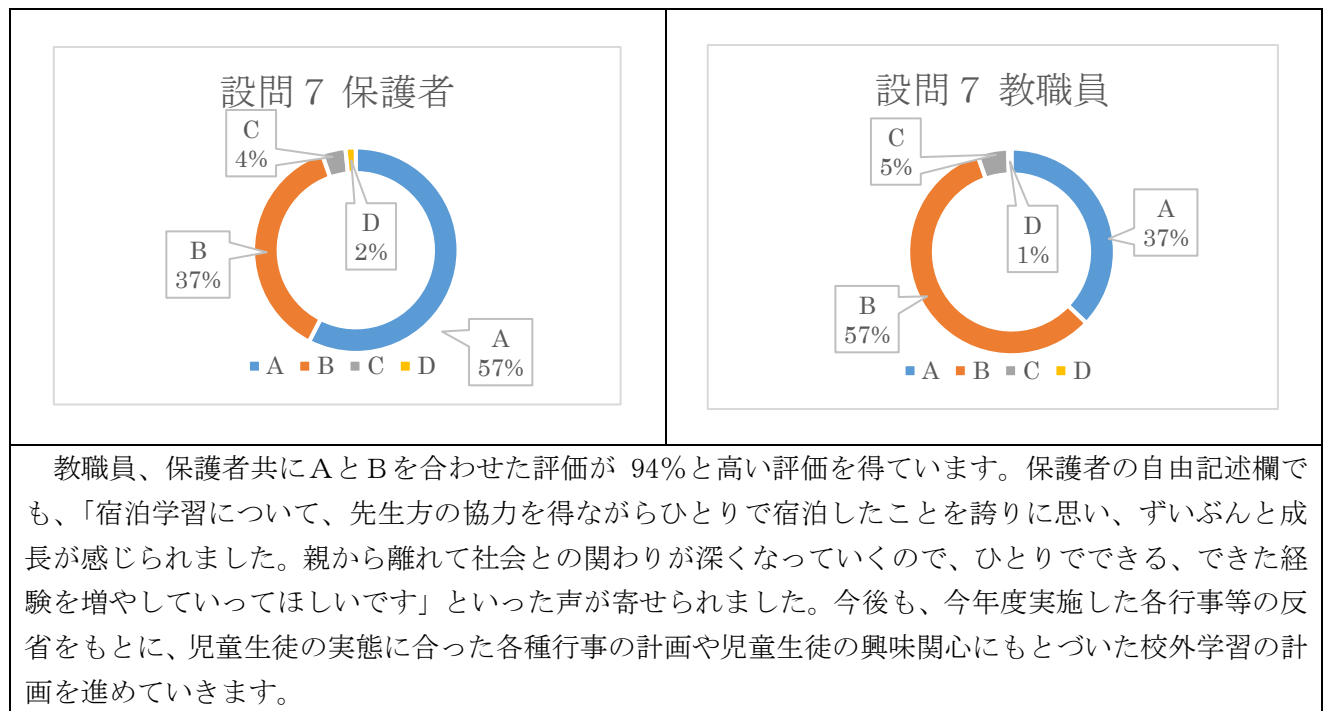
教職員、保護者共にAとBを合わせた評価が95%を超え、高い評価を得ています。保護者のAの評価が昨年度と比べ増加（R5：55%→R6：61%）し、児童生徒の基本的な生活習慣の成長を感じていただいています。また、教職員もAの評価が昨年度と比べ増加（R5：27%→R6：38%）してはいるものの、保護者との開きが見られます。児童生徒の基本的な生活習慣の成長について、具体的にどのような場面で、どのような支援によって、どのような育ちがあったかを教職員自らが感じ取れるように保護者とこれからも共有していきます。

設問6 学校や家庭における悩みなどを気軽に相談できる体制が整っていると思いますか。

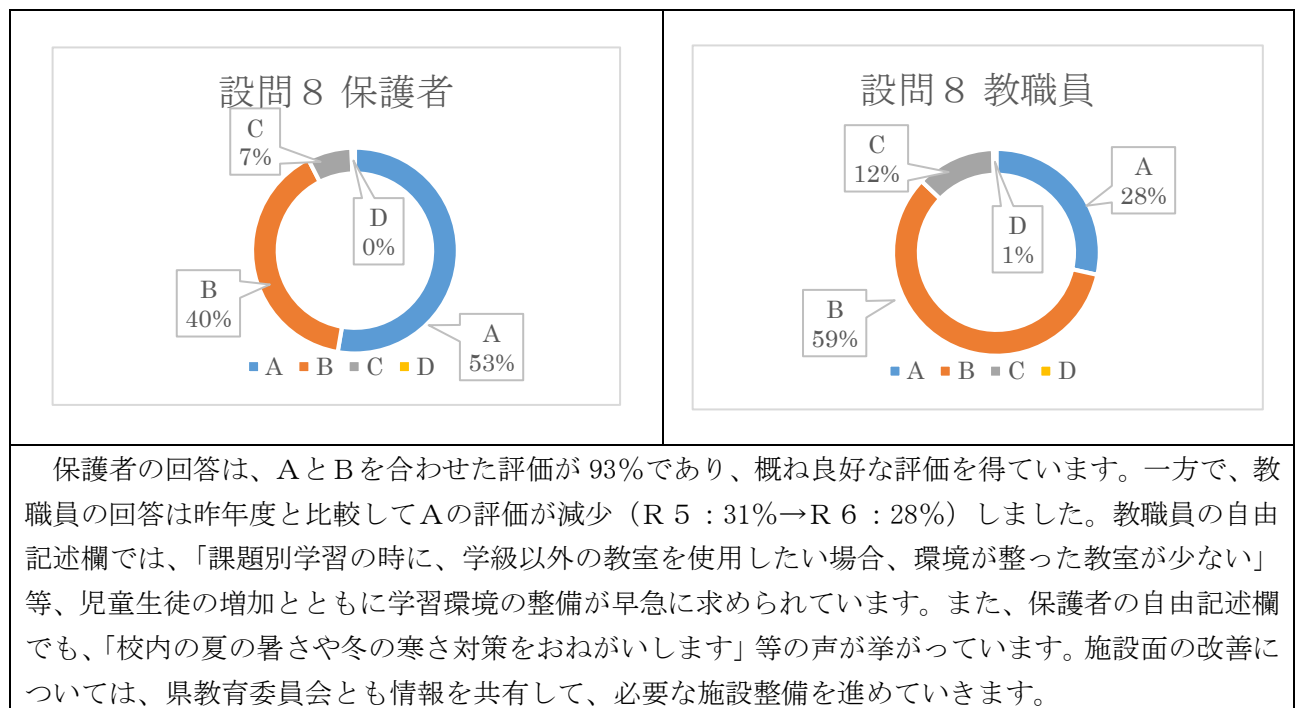


教職員、保護者共にAとBを合わせた評価が94%を超え、高い評価を得ています。保護者のAの評価が53%に対して教職員のAの評価が37%であり、保護者と教職員の評価との間に差が見みられます。今年度もPTA主催で「事業所を回る施設研修」や「進路の講演会」、「アートイベント」等を企画しました。今後も、学級や学年、部等の保護者同志の集まりや保護者と教職員の集まり等、様々な関りがもてる機会を今後もPTA役員の皆様と連携しながら進めていきます。

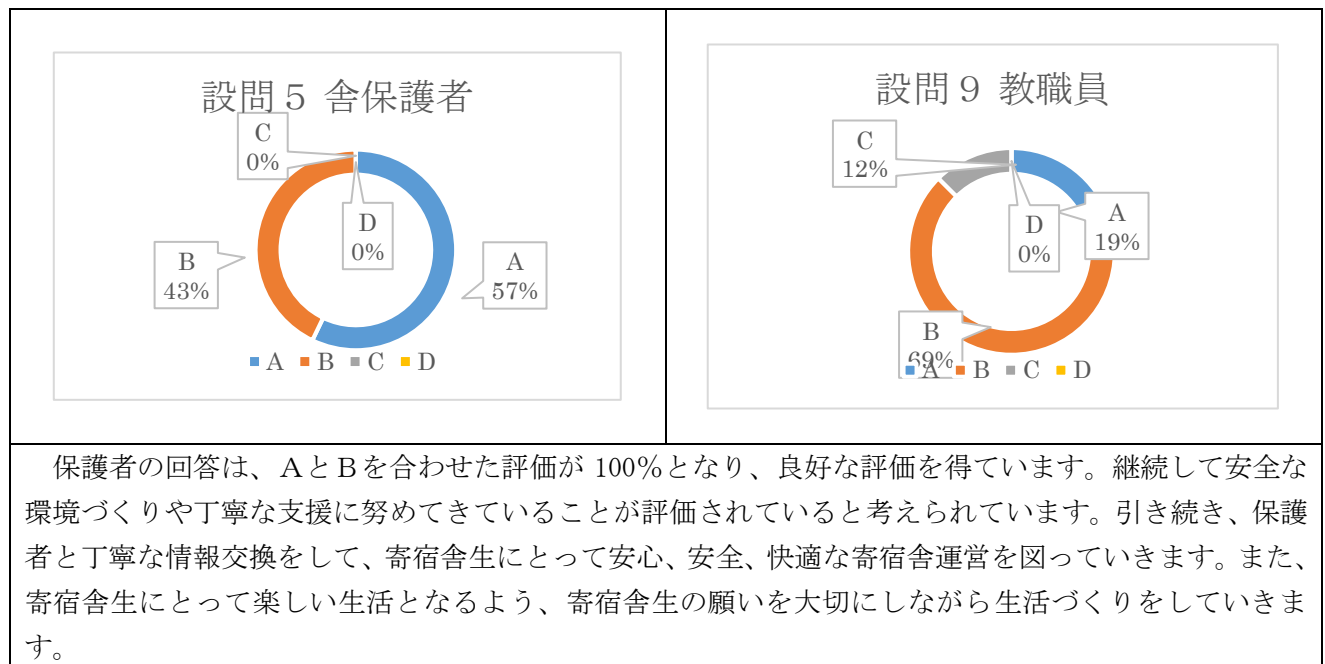
設問 7 交流や宿泊行事、校外学習は、児童生徒の実施にあったものになっていると思いますか。



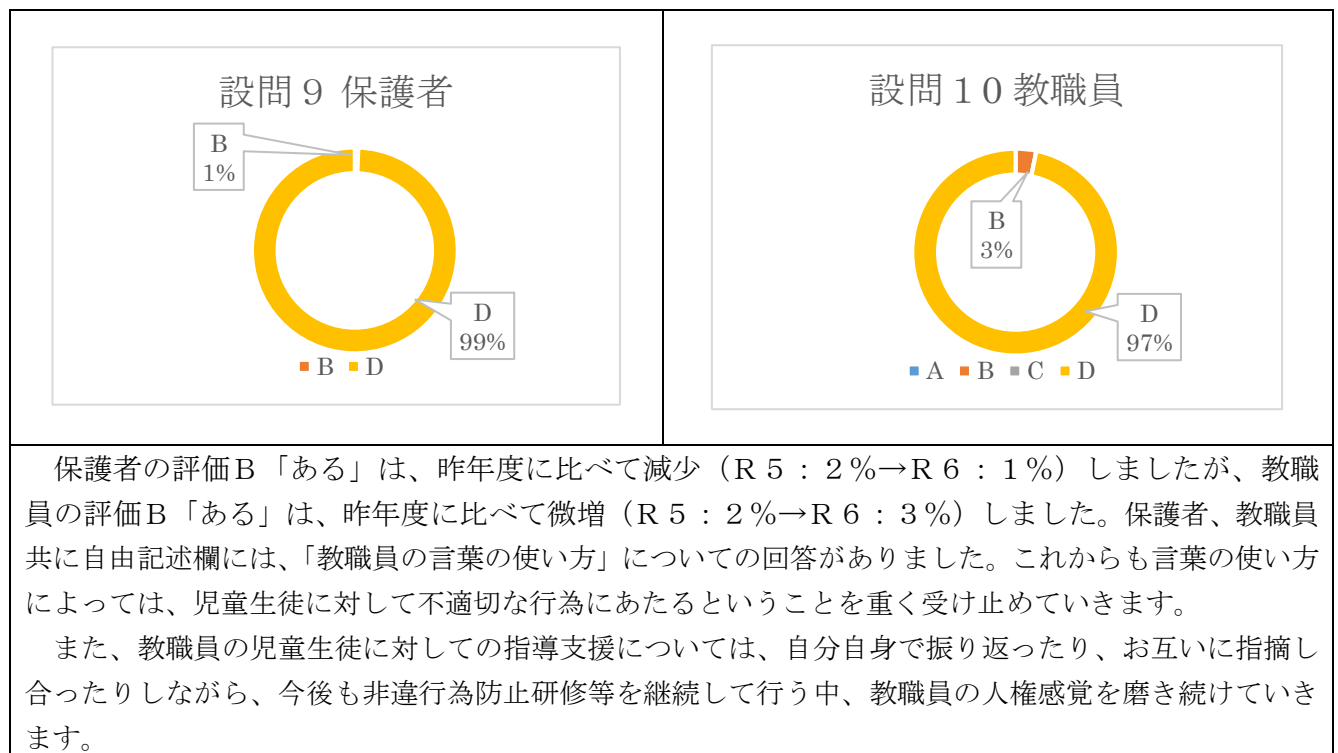
設問 8 学習環境（学校の施設・設備、教室環境など）は、児童生徒にとって生活しやすいものになっていると思いますか。



設問 9 寄宿舍では、舎生にとって安心安全な環境を整えたり、温かい支援が行われたりしていると思いますか（現舎生保護者）。



設問 10 今年度、あなたのお子さんが体罰をされたということを見たり聞いたりしたことはありますか。



3 寄宿舍アンケート（寄宿舍を利用している保護者アンケート）

設問1 寄宿舍の職員は、生活年齢や障がい特性に配慮し、専門知識を活かした指導を行おうと努力していると思いますか。

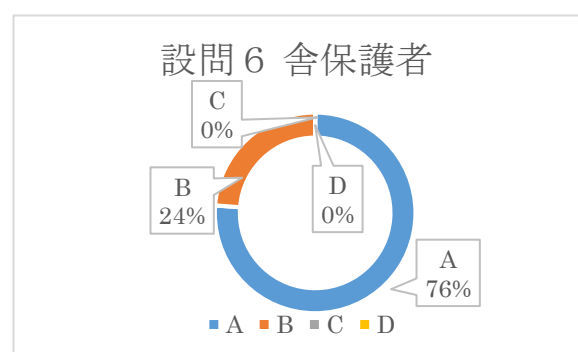
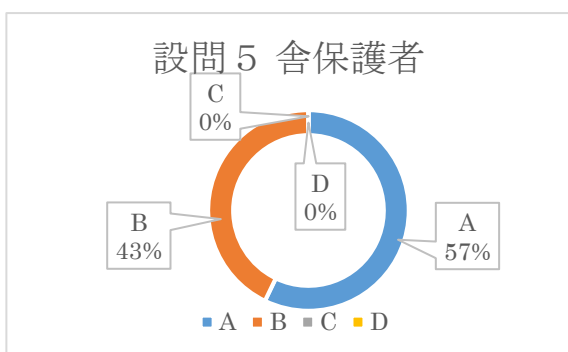
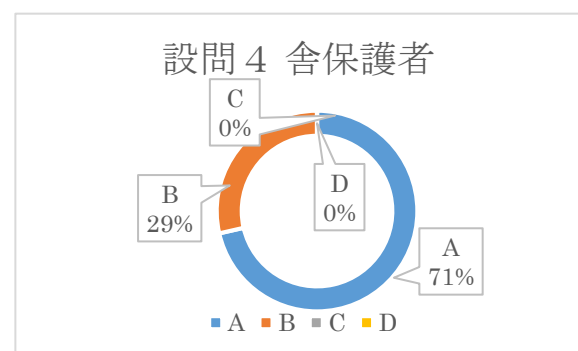
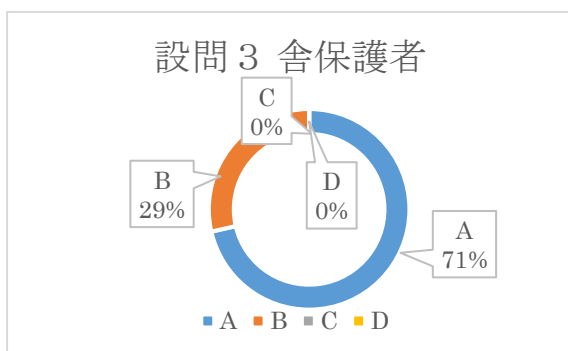
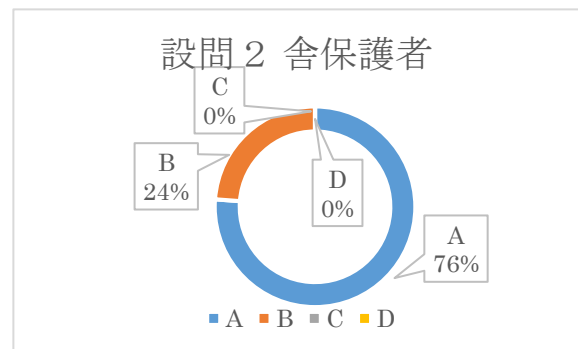
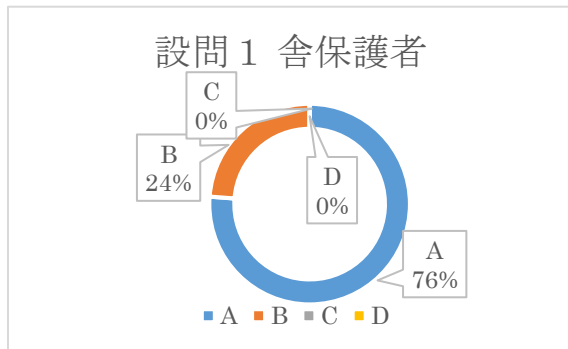
設問2 寄宿舍では個別の指導計画を作成し、それに基づいて適切な指導、支援をしていると思いますか。

設問3 日々の連絡や個別懇談、参観等を通じて、支援の共通理解がもてていると思いますか。

設問4 寄宿舍での生活を通して、その子なりに基本的な生活習慣やマナー（身辺自立、あいさつ、性に関すること等）が育っていると思いますか。

設問5 寄宿舍の施設・設備・舎室等は、児童生徒にとって安心安全で生活しやすいものになっていると思いますか。

設問6 寄宿舍では、プライバシーに配慮した同性介助の徹底がなされていると思いますか。



【考察】

どの設問においてもA「そう思う」、B「だいたいそう思う」の合計が100%であり、良好な評価を得ています。設問2（個別の指導計画の活用）では、「Aそう思う」の評価がR5:58%→R6:76%、設問3（日々の情報共有）でも、「Aそう思う」の評価がR5:50%→R6:71%とそれぞれ増加しています。昨年度から校務支援システムの導入により個別の指導計画の形式が変更しましたが、形式に合わせ保護者に伝わりやすい記述にしたり、保護者との情報共有を密にしていったりしたことがよかったと考えます。今後も保護者との連絡や支援に関する共通理解をより深めていきます。